



TITLE:

# 研究会報告「パターン形成、運動と統計」

AUTHOR(S):

---

CITATION:

研究会報告「パターン形成、運動と統計」. 物性研究 1991, 57(3): 394-395

ISSUE DATE:

1991-12-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/94845>

RIGHT:

## 研究会報告

「パターン形成、運動と統計」 於 基研大会議室、1991年6月10日(月)～12日(水)

(1991年9月10日受理)

6月10日(月)

a.m. 10:00 ~ 11:30

1. 大月 俊也(福井大工) 「拡散律速結合反応における遅い緩和」
2. 香取 眞理(東大理)、今野 紀雄(室蘭工大)  
「非可逆な化学反応モデルにおける拡散の効果について」
3. 種村 正美(統数研) 「球面上のネットワークパターン形成」
4. 伊藤 伸泰、藤井 実(原研)  
「格子モデルのモンテカルロシミュレーションによる空間パターン知覚」

p.m. 1:00 ~ 3:30

- [5.] 大嶋 隆一郎(阪大基礎工) 「固体のマルテンサイト転移について」
6. 古川 浩(山口大教育)  
「簡単化されたモデルでの破壊進展速度、理論及びシミュレーション」
7. 早川 尚男(東北大理) 「ランダム希釈不純物でのドメイン成長」
8. 川勝 年洋、川崎 恭治(九大理) 「界面活性剤を含む二相分離系の微視的モデル」
9. 中原 明生、川勝 年洋、川崎 恭治(九大理) 「開放系でのオストワルド成長」

p.m. 4:00 ~

10. 本田 勝也、旦木 秀和(名大工) 松下 貢(中大理工)  
「フラクタル・クラスターの集合に対するマルチフラクタル統計」
11. 太田 正之輔(九大教養) 「等方的拡散律速凝集体の成長機構」
12. 横田 修(東工大理) 「DBMに対するカイネティック項の効果」
13. 大久保 晋、茂木 巖、中川 康昭(東北大金研) 「磁場中の金属葉フラクタルの成長」
14. 高安 秀樹、稲岡 創(神戸大理) 「侵食作用による自己形成フラクタル地形」
15. 高安 秀樹、アレックス・トレチャコフ(神戸大理)  
「シルピンスキーのギャスケット上での触媒反応」

6月11日(火)

a.m. 9:00 ~ 12:00

16. 泰中 啓一(茨城大理) 「生態系におけるトポロジカル相転移」
17. 堀井 善一郎(岡山大歯) 「生体系でのパターン形成  
— その Non-equilibrium Variational System について流体系との比較 —」
18. 古賀 真史(大阪教大) 「反応拡散系における回転する螺旋波」
19. 鈴木 宏之、森 雄造(大阪市大工)  
「Turnbull's blue 生成光化学反応系のプレパターン形成」
20. 山田 裕康(名大理) 「The Dynamics of Wave Fronts in Excitable Media」

21. 那須野 悟、佐々木 修、甲斐 昌一 (九工大)  
「異方性対流系における対流ロールの安定性ダイアグラム」
22. 小川 淳司 (九大理)、W. Zimmermann (Jülich 研)、川崎 恭治、川勝 年洋 (九大理)  
「空間的周期外場下の液晶対流系におけるパターン形成」

p.m. 1:30 ~ 3:30

23. 佐々 真一 (京大理)、早川 尚男 (東北大理)  
「Void Fraction Dynamics in Fluidization」
24. 田口 善弘 (東工大理) 「粉体の対流運動の数値モデル」
- [25.] 土井 正男 (名大工) 「Mesoscopic Domain Theory for Textured Liquid Crystals」
26. 本田 勝也、木村 初男 (名大工) 「脂質2分子膜におけるリップル相形成の理論」
27. 扇割 正浩、松下 貢 (中大理工)、松山 東平 (新潟大医)  
「バクテリア・コロニーの環境条件による形態変化」

p.m. 4:00 ~

- [28.] 竹内 郁夫 (岡崎共同研) 「細胞性粘菌のパターン形成」
- [29.] 杉山 勉 (国立遺伝子研) 「ヒドラのパターン形成」
30. 梅田 民樹 (京大理) 「細胞性粘菌移動体の運動とパターン形成」

懇談会

6月12日(水)

a.m. 9:00 ~ 12:30

- [31.] 滝本 淳一 (日産自動車中央研) 「Electrofluids」
32. See Howard、土井 正男 (名大工)  
「双極子相互作用をするコロイド粒子の凝集の Kinetics」
33. 古賀 毅、川崎 恭治 (九大理) 「二成分液体のスピンノーダル分解」
34. 柳田 達雄 (統数研) 「沸騰の動力学モデル」
35. 太田 隆夫 (お茶の水女子大) 「Computer Simulations of Micro-Phase Separated Block Copolymers under an Oscillatory Shear Flow」
36. 関 和彦 (東工大) 「生体膜中でのブラウン運動」
37. 好村 滋行 (東工大理) 「Monte Carlo Study of Vesicles」
38. 谷口 貴志、川勝 年洋、川崎 恭治 (九大理) 「球状界面近くでの高分子鎖の濃度分布」

\* [ ] をつけた講演は長く話していただきます。その他の講演は討論を含め20分位でまとめるようお願いします。